竹製品とプリザーブドフラワーのアレンジによる観光促進

分類：支援事例 | 投稿日：2020-03-09



単なるプリザーブトフラワーではなく、別府市の特産品である竹製品とのコラボの可能性を追求している。作品の活用法、プロモーション、観光事業者との提携など克服すべき課題は多いが、看護師としての長年の経験を活かして患者さんに向けてきたケアリングの精神を観光客に対するおもてなしに変えて、別府市の観光振興に寄与したい。



起業者・事業者

フルール・ド・ボヌール 朝月真由美

看護師として長年の経験を積む。職場で経験したハードワークによるストレスの解消法として癒し効果があるものづくりを追求、プリザーブドフラワーのアレンジメントに出会う。看護師を退職して一念発起、プリザーブトフラワーと別府特産の竹製品を組み合わせて癒し系製品の企画制作販売事業化を模索している。

大分県別府市田の湯町3-7 アライアンスタワーZ内 4F



支援者

宮井智史SIM 株式会社ASO

シニアー・インキュベーション・マネジャー

久留米出身。アライアンスタワーZ勤務。2008年インキュベーション・マネジャー研修終了。アライアンスタワーZ内にコワーキングスペース「Alliance Social Share office Beppu」を立ち上げ。JBIA認定シニアー・インキュベーション・マネジャー。
今回は、起業家の経歴を勘案し、癒し効果を盛り込めるような商品企画と、観光地別府の特産品である竹製品とのコラボを探る提案と支援に注力。

大分県別府市田の湯町3-7 アライアンスタワーZ 4F

0977-22-1111